
仮面ライダークライド

チナパパ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダークライド

【Zコード】

N4782H

【作者名】

チナパパ

【あらすじ】

秘密組織ギリアムの手によって改造人間にされた速水真吾は組織から抜け、他の改造人間と戦う道を選んだ。例えそれが人々から虐げられることになろうとも、絶望の淵に立たされることにならうとも、ただ己の信じた世界の為に…。

第1話 -1- (前書き)

仮面ライダーとタイトルにはありますが関連性はほとんど無いのでそれを踏まえて読んでください。また、鬱な展開になるのでそういう系統のものに弱い人は読むのは最好不要ください。

真夜中の山道。そこを1人の男がバイクで走っていく。男の年齢は恐らく20代前半、青の半袖の上着に無地の白いシャツ、そしてGパンで

『腰にはめている奇抜な『デザインのベルト』を除けば飾り気の無い服装をした男だつた。

不意にその男がバイクを止めた。男の目の前には3体の

『異形のモノ』がいた。

「『トイツラ』がいるつてことはそろそろだな。だが、『生身』で3体も突破してくのはちとキツいんじゃないか？速水真吾さんよ。」

男の耳に装着されたイヤホンに通った中年の男の声が入る。

「そうですね。ここで時間を食う訳にもいかない。『許可』はもう降りてるんですか？竹内さん。」男が言葉を返す。

す。

「もちろんだ。それと竹内で良いし敬語もいらん。一応お前の方が偉いんだからな。」「それじゃあ落ち着かないんですよ。」

「そうかい、じゃあ好きにしin。」「じゃあ、お言葉に甘えて。」「悪いな、真吾。長話を

しきぎた。敵さんもう来てるだ。以上通信終わり。」

「了解。」緊張感の無かつたその男の声のトーンが下がる。そして通信が終わつた直後その男『速水真吾』は左手を腰のベルトに当て、右手を前方に構えこう叫んだ。『変身！』

真夜中の山道。

速水真吾はバイクでそこを走つてゐる。何の変哲もない山道である。

ただ、違和感はあつた。違和感の原因はさつき彼がいた場所にあつた。そこ一帯の木々は薙ぎ倒され、3体いた異形の姿はなく変わりに鉄の臭いがする赤い染みが道に広がつていて。だが、真吾はそんな違和感は初めから存在しないと言わんばかりに山道を

バイクで走つていった。

それから数分後

「こ

こか？」朽ちかけた看板を見て真吾は一人呟いた。

「竹内さん、ここであつてます？」真吾はマイク先の竹内に聞いた。

「竹内でいい。ああ、確かにここが『清里村』：例の報告があつた場所だ。」
がら緊張感を帯びていた。

――続く。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4782h/>

仮面ライダークライド

2010年10月9日22時51分発行